

# 令和3年度 第1回桐生市子ども・子育て会議の開催結果について（報告）

【日 時】 令和3年10月6日（水）～10月18日（月）

【開催方法】 書面会議

【出席者】 委員17名の内、17名が出席（意見書を提出）  
※過半数以上の委員が出席しているため、会議は成立

## 【議 事】

(1) 令和2年度桐生市子ども・子育て支援事業計画における進捗管理状況について

〈意見・質問等について〉

### ●事業に対する意見・質問等

該当箇所	意見・質問等	回答	担当課
P.3～5 基本目標1 施策目標1 (2)、(3)	・保育所・認定こども園について 確保方策と実績人数の差がそれほどないように感じます。女性の社会進出、共働きの家庭が増える中、定員の確保、保育士の拡充（処遇改善も含めて）をぜひお願い致します。私自身、保育園なくして仕事を続けることはできなかつたと大変感謝しております。特に0歳児の3月の定員に不安を感じました。	確保方策につきましては、実績人数を基に、その後の異動も加味して決定しているところです。引き続き、適正な利用定員の確保に努めてまいります。 なお、0歳児につきましては、特定の施設を希望する場合以外は、定員の弾力化（※市町村において待機児童解消等のため、定員を超えて入所できるようにする制度。）によりほとんどの方が入園でき、万一特定の施設を希望し、待機となった場合でも、毎年4月には入園できております。 また、保育士の配置拡充や処遇改善につきましては、様々な機会を通じて国や県に意見を伝えてまいりたいと考えております。	子育て支援課
P.23 基本目標1 施策目標2 (11)	放課後児童クラブの学習支援の強化、各小学校ごとの運営内容のバラツキの均一化、見える化が必要ではないかと思いました。	桐生市では、各クラブの保育内容・保育料・支援員の賃金等の統一を目的として、平成28年度に既存の「桐生市放課後児童クラブ設置運営マニュアル」（平成21年3月策定）を改正し、本マニュアルに基づく市内統一的なクラブ運営に努めております。 本マニュアルにおいては、保育内容の一つとして、クラブ活動における自主学習（宿題・自習等）の環境整備や支援の実施	子育て支援課

		<p>についても規定しており、各クラブにおいて対応しているところです。</p> <p>なお、市では、上記の点も含め、本マニュアルに基づく適切なクラブ運営がなされているかを確認するため、毎年、各クラブに対して実地検査を実施しております。今後も、保護者の皆様の声も聞きながら、本マニュアルに基づく統一的なクラブ運営がなされるよう努めてまいります。</p>	
<p>P. 48 基本目標 3 施策目標 1 NO. 32</p>	<p>資料P 4 8 “フッ化物洗口についての取組”については、以前の会議でも発言しましたが、やはり理解出来ずにいます。「市立小学校 2 校での実施」で、評価が A ということは、目標はあくまでも 2 校での継続であり、全ての学校での実施は目標としていないと解釈出来ます。何故でしょう。学校でのフッ化物洗口の是非もさる事ながら“2校だけ”の現状も、このままでいいのでしょうか。実施している 2 校以外の学校は、この事業の存在を知っていて「やらない」という選択をしているということでしょうか。</p>	<p>フッ化物洗口を実施している学校数については委員ご指摘のとおり 2 校のみでの実施となっているのが現状です。</p> <p>学校におけるフッ化物洗口につきましては、学校歯科医の指導と保護者の協力が不可欠であり、また、教職員や学校歯科医に掛かる負担も大きくなることから、フッ化物洗口の実践まではなかなか及ばない状況となっております。</p> <p>学校での歯科口腔保健については、歯科医師会と連携しながら、学校歯科医の先生方のご指導をいたいただき、歯磨きの実践指導をはじめ、歯科健診でむし歯（う歯）が発見された場合は「受診のすすめ」をご家庭に送付し治療を勧めております。また、生活習慣とむし歯や歯肉炎についての口腔保健指導を行い、併せてフッ化物の有効性についての啓発を行っており、洗口は実施しないまでも歯科口腔衛生に関する指導は十分浸透しているものと考えております。</p> <p>学校や家庭でできる歯磨き指導の浸透とともに、現在はフッ素入りの歯磨き剤も多く市販されるなど、口腔衛生の改善が図られたことにより、むし歯の数も減少傾向となっております。</p> <p>引き続き、学校での歯磨き指導を行うとともにフッ化物の有効性についても普及、啓発を図り、生涯にわたる健康づくりの基礎を培っていきたいと考えております。</p>	<p>学校教育課</p>

意見等

- ・リモートでもいいので意見交換したかったです。
- ・コロナ禍での園や学童の対応などについてもっと意見交換したかったです。
- ・進捗管理状況については、問題ないと思います。
- ・コロナ禍で、桐生市子ども・子育て会議の開催が書面開催になってしまい、残念に思います。そのような中、当局の主催される担当の皆様には、大変なご苦勞があるものと推察致します。さて、今いまの事ではないのですが、全国に於いても、ここ桐生市に於いても、人口減少、ことに未来を担う子どもの出生率は下がるばかりです。子どもたちは、社会の未来を創る大切な小さいなかまではないでしょうか。将来を見据え、群馬県を中心に各自自治体と一緒に、安心して子どもを産み育てられる桐生市を各分野の方たちと力を合わせて取り組まなければと危機感を抱いております。が、小市民の私どもが思う以前から行政ではずっとずっと苦慮しているものとは当然想像しておりますし、そう単純なものではないことも想像出来ます。どうか、豊かな可能性を持った子どもたちの育ちを守りつつ、桐生市の発展につながっていくことを願っています。
- ・子ども・子育て（妊娠中を含め）に、市の多くの課がかかわってくれているのだと改めて認識しました。
- ・資料の中、“今後の方向性”の欄に「市民への周知を図りながら…」と書かれている事業に関しては、必要としている人（子）が、きちんとそのサービスにたどりつけることを望みます。必要としている人が、用意されている支援を知らずにいるのは、大変もったいないと思います。
- ・多くの支援事業に取り組んでいただいている中で、実績評価Aが90%という結果に、担当の皆様の努力の成果が表われていると思いました。
- ・コロナ禍の中での事業への取り組みということで、大変なご苦勞があったことと思います。やむなく中止となった事業も、今後実施の方向のようで安心しています。
- ・現在、新型コロナウイルスの感染者が少なくなって幸いですが、今後、拡大の不安もあります。特に子育て世代の保護者に対しては、感染防止に関して、自覚と意識の弱い人がまだまだいると感じていますので、集団生活の場とともに、家庭生活の中でも、親子共に意識を持って行動できるよう、働きかけを強化していただく必要を感じています。